

企画展 歿後30年

# 草野心平展

ケルルンクツクの詩人、  
富士をうたう。

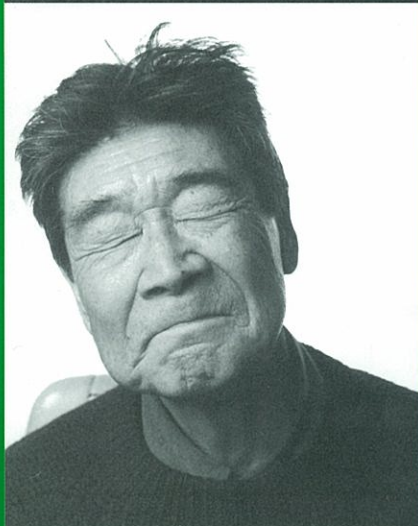
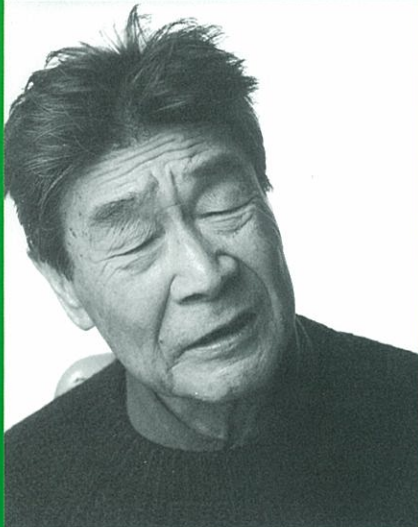
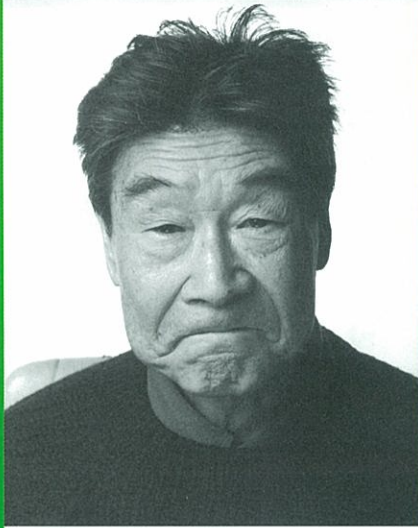
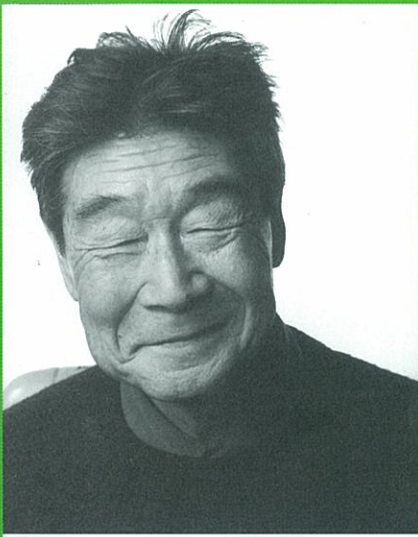
2018年9月22日(土) — 11月25日(日)

〔特別協力〕いわき市立草野心平記念文学館 〔協力〕山梨交通株式会社 〔後援〕テレビ山梨 山梨日日新聞社・山梨放送 テレビ朝日甲府支局 朝日新聞甲府総局 毎日新聞甲府支局 読売新聞甲府支局 産経新聞甲府支局 日本経済新聞社甲府支局 共同通信社甲府支局 時事通信社甲府支局 山梨新報社 エフエム甲府 日本ネット ワークサービス エフエム富士

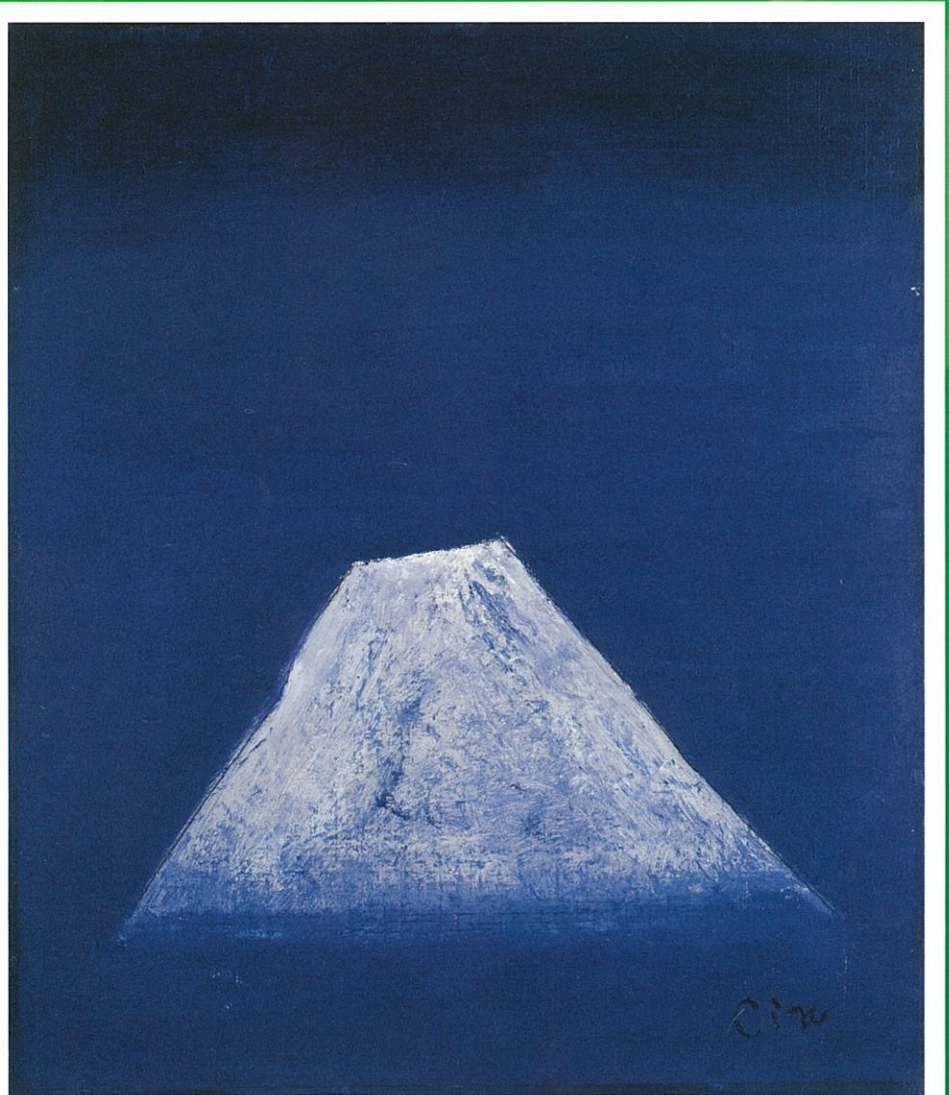
## 山梨県立文学館

〒40010065 山梨県甲府市貫川一丁目51-35  
TEL 055123518080  
FAX 055123619032  
<http://www.dungakukan.pref.yamanashi.jp/>

2019年に開館30周年を迎えます



撮影 小林正昭 提供 いわき市立草野心平記念文学館



草野心平画 「空海富士」 1968(昭和43)年 油彩 個人蔵

企画展  
歿後  
30年

# 草野心平展

ケルンクックの詩人、富士をうたう。

「春のうた」をはじめとする蛙の詩で知られる草野心平（1903～1988・福島県生まれ）。中国・嶺南大学留学の頃より本格的に詩作を始め、その起伏に富んだ人生の中で個性的な詩を多く生み出しました。心平を魅了し、創作の重要なテーマの一つとなったのが富士山です。数々の詩にうたい、書や絵画でも富士の魅力をダイナミックに表現しました。本展では、富士山来訪のエピソードや、山梨県立甲府南高等学校の校歌作詞など、山梨との関わりについても紹介。原稿、書、絵画などの資料を通じて、草野心平の生涯と生命力溢れる詩の世界をご覧ください。



草野心平画「赤富士」1968(昭和43)年 油彩 塩尻市立古田晃記念館蔵

## 関連イベント

### 講演会

・島田 雅彦(小説家)

「牧歌への回帰」

10月21日(日) 午後1時30分～3時

講堂/定員500名

・蜂飼 耳(詩人・作家)

「草野心平、詩の理想を求めて」

10月28日(日) 午後1時30分～3時

研修室/定員150名

・阿毛 久芳(都留文科大学名誉教授)

「宮沢賢治、高村光太郎、そして草野心平  
—コスモス、世界共通意識と孤絶意識にかかわって—」

11月10日(土) 午後1時30分～3時

研修室/定員150名

### 講座

・伊藤 夏穂(当館学芸員)

「草野心平と富士山—展示のみどころ—」

9月30日(日) 午後1時30分～2時40分

研修室/定員150名

\*講座終了後に、展示室にてギャラリートークを行います。

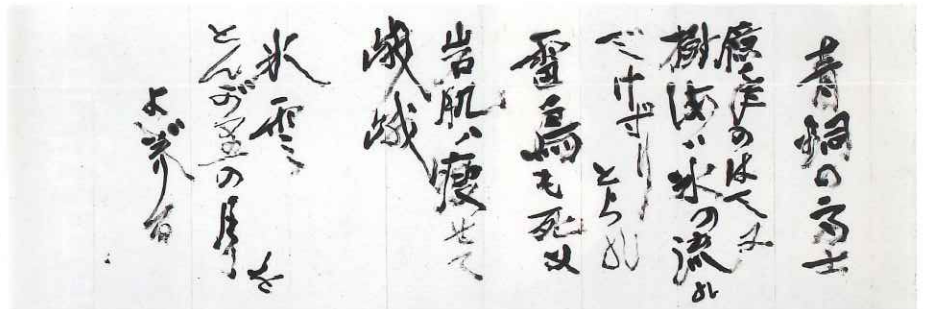
### 閲覧室資料紹介

「草野心平の世界」

9月21日(金)～11月25日(日)/閲覧室/入場無料

草野心平の著作と詩誌「歷程」をめぐる詩人の作品など関連資料を紹介いたします。

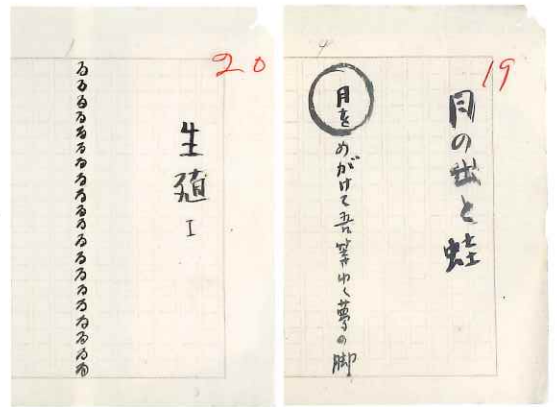
\*講演会・講座は、参加無料。お電話か当館ホームページ、または当館受付でお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。



草野心平筆「富士山六題」折帖の内、「青銅の富士」1970(昭和45)年8月 当館蔵  
心平が自作の富士山の詩六編を選び墨書した折帖。福島県双葉郡川内村の山荘「天山文庫」で書かれた。



朝井閑右衛門画「詩人草野心平之像」  
1960(昭和35)年 油彩  
いわき市立草野心平記念文学館蔵



草野心平「月の出と蛙」「生殖 I」原稿  
いわき市立草野心平記念文学館蔵  
活版印刷による初めての詩集「第百階級」の自筆原稿。詩集のタイトルは蛙を動物の中で百番目の階級と考えたことに由来し、蛙を主題にした詩が集められている。

## 【利用のご案内】

【開館時間】 展示室 午前9時～午後5時(入室は4時30分まで)  
閲覧室 午前9時～午後7時(土・日・祝日は6時まで)

【休館日】 月曜日(9月24日、10月8日は開館)、9月25日、10月9日

## 【観覧料】

|     | 企画展  |            |
|-----|------|------------|
|     | 個人   | 団体(20名以上)※ |
| 一般  | 600円 | 480円       |
| 大学生 | 400円 | 320円       |

・高校生以下の児童・生徒、県内在住の65歳以上の方、障害者手帳をご持参の方、およびその介護をされる方は無料です。

・11月20日(火)県民の日は無料。

※県内宿泊者は、団体料金で観覧できます。

・前売券 一般480円 大学生320円

前売券は8月22日(水)～9月21日(金)の間に、当館受付で販売いたします。



同公園内にある山梨県立美術館で開催  
銅版画の詩人 追悼  
深沢 幸雄展  
9月1日(土)～10月8日[月・祝]

## 【交通のご案内】

### JR中央本線甲府駅より

- 甲府駅バスターミナル南口①番乗り場より御勅使・竜王駅經由数島営業所・大草經由韮崎駅・貫川団地各行ききのバスで約15分、「山梨県立美術館」下車。(料金:280円)  
※甲府駅からのバスの時刻表は(山梨交通HP)よりお調べいただけます。
- タクシーで約15分(料金1,700円程度)

### 中央自動車道甲府昭和インターチェンジより

- 料金所を昇仙峡・湯村方面へ出て、200m先を左折、西条北交差点左折、アルプス通りを約2km直進、貫川交番前交差点を左折、国道52号を約1km左側。